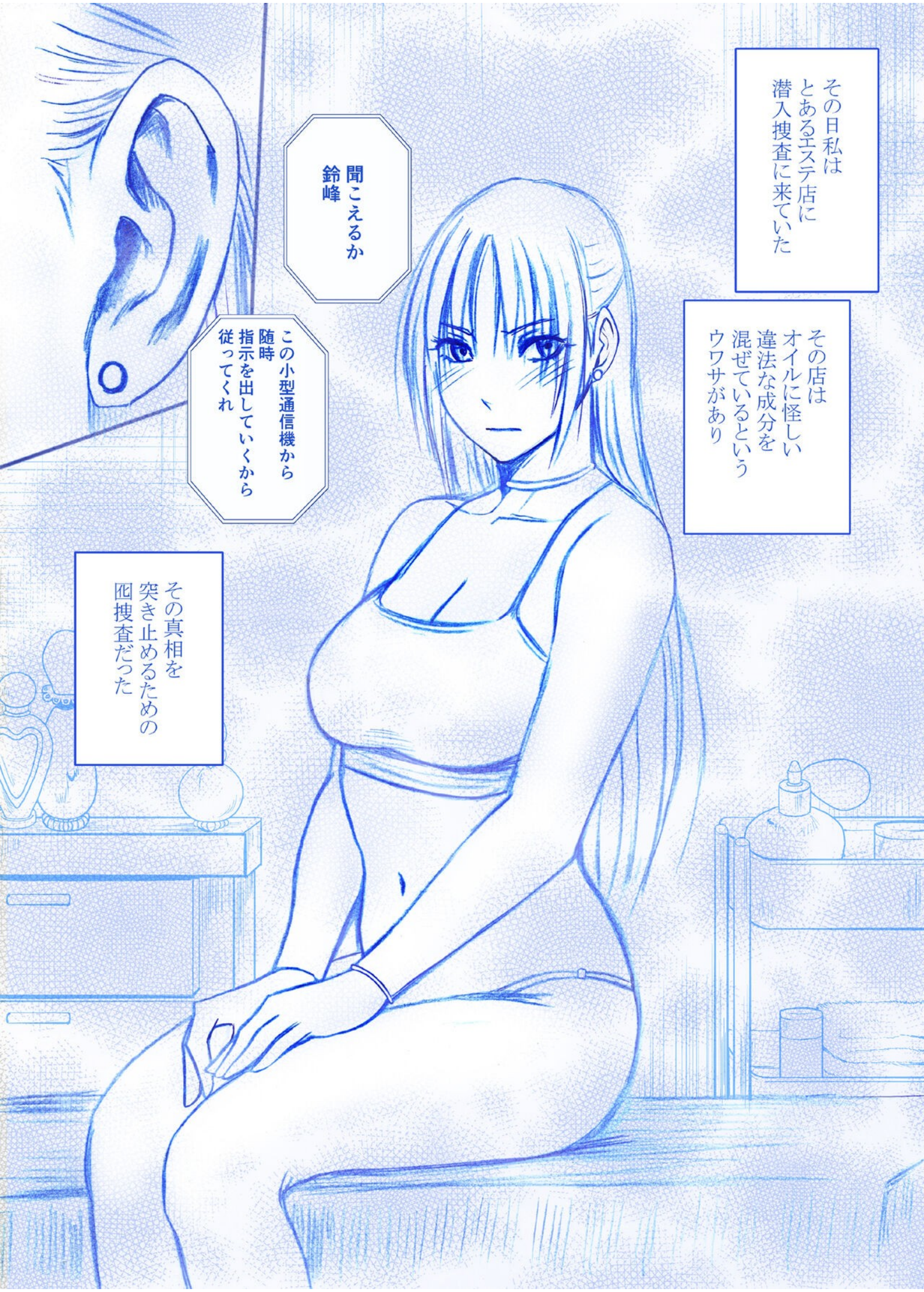
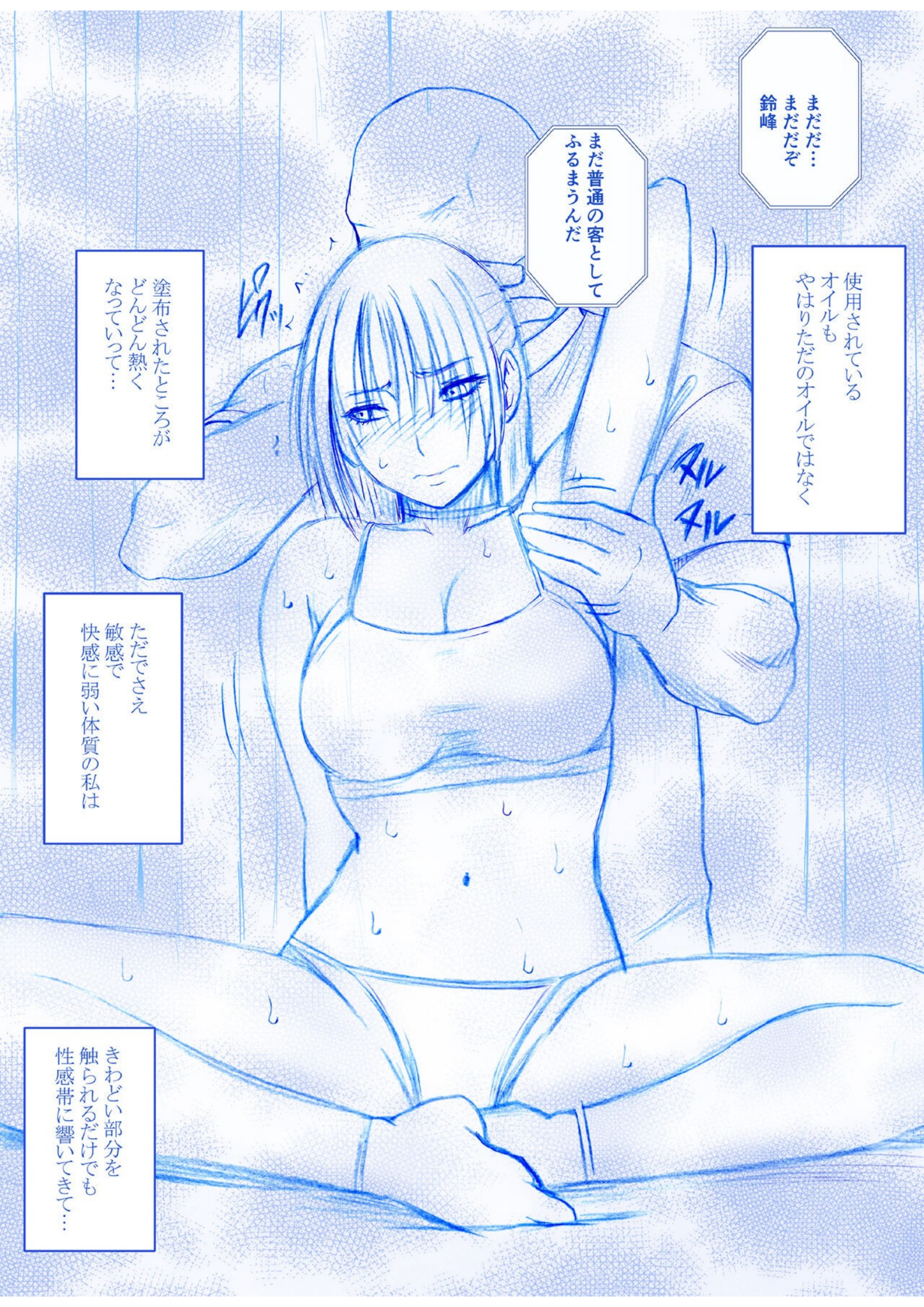
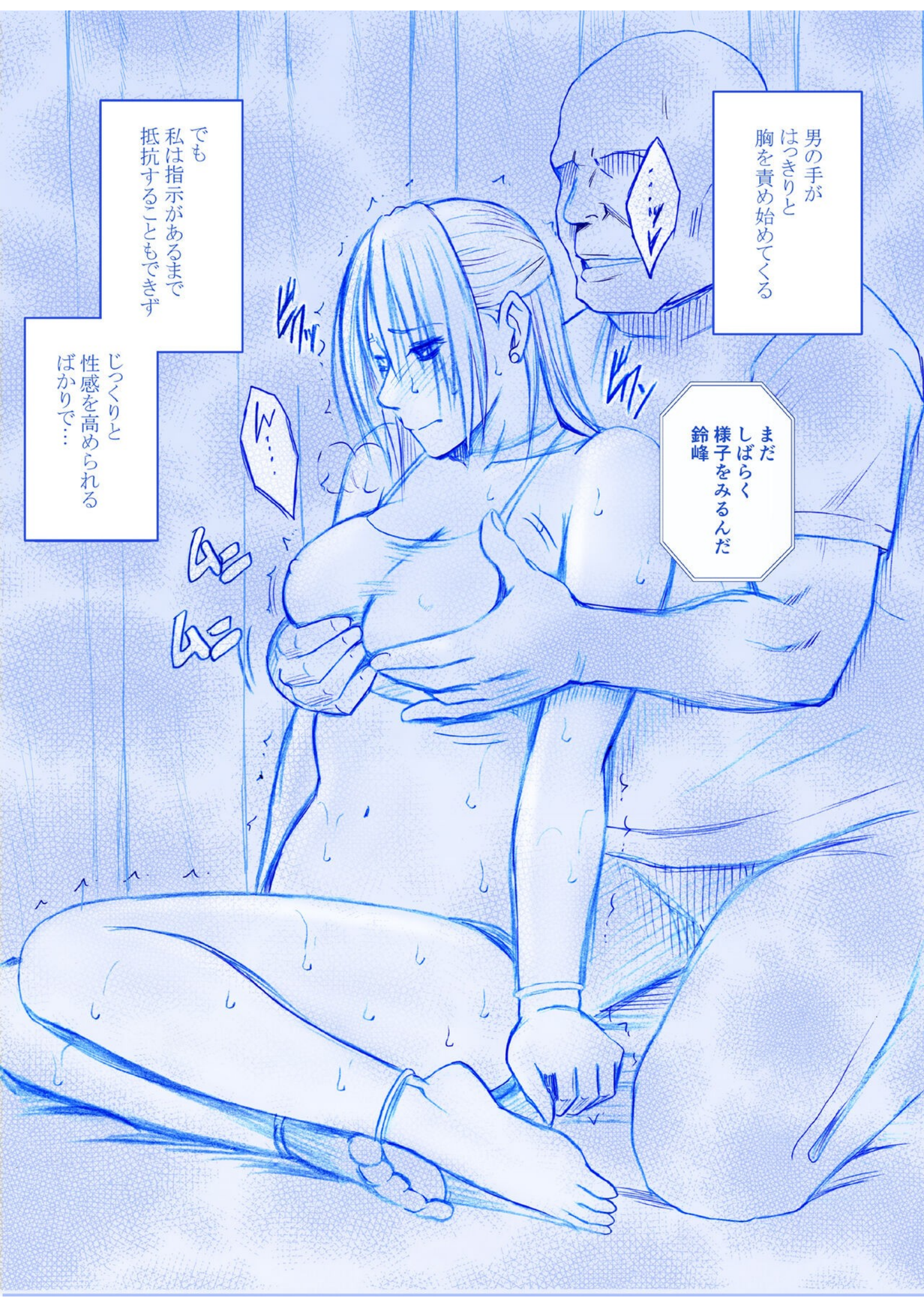

その日私は
とあるエステ店に
潜入捜査に来ていた
その店は
オイルに怪しい
違法な成分を
混ぜているという
ウワサがあり
聞こえるか
鈴峰
この小型通信機から
随時
指示を出していくから
従ってくれ
その真相を
突き止めるための
囮捜査だった

事前に入った
別の捜査官が
隠しカメラを
設置することには
成功している
何かあったら
すぐに突入できる
体勢は整っている
確実な証拠を
掴むまでは
あくまでも一般客を
装い続けるんだ
そして施術は
はじまった
始めこそ
普通の施術内容だったが
じょじょに
手つきが
怪しく
なってくる
ヌルヌル


まだだ…
まだだぞ
鈴峰
まだ普通の客として
ふるまうんだ
使用されている
オイルも
やはりただのオイルではなく
塗布されたところが
どんどん熱く
なっていって…
ただでさえ
敏感で
快感に弱い体質の私は
きわどい部分を
触られるだけでも
性感帯に響いてきて…

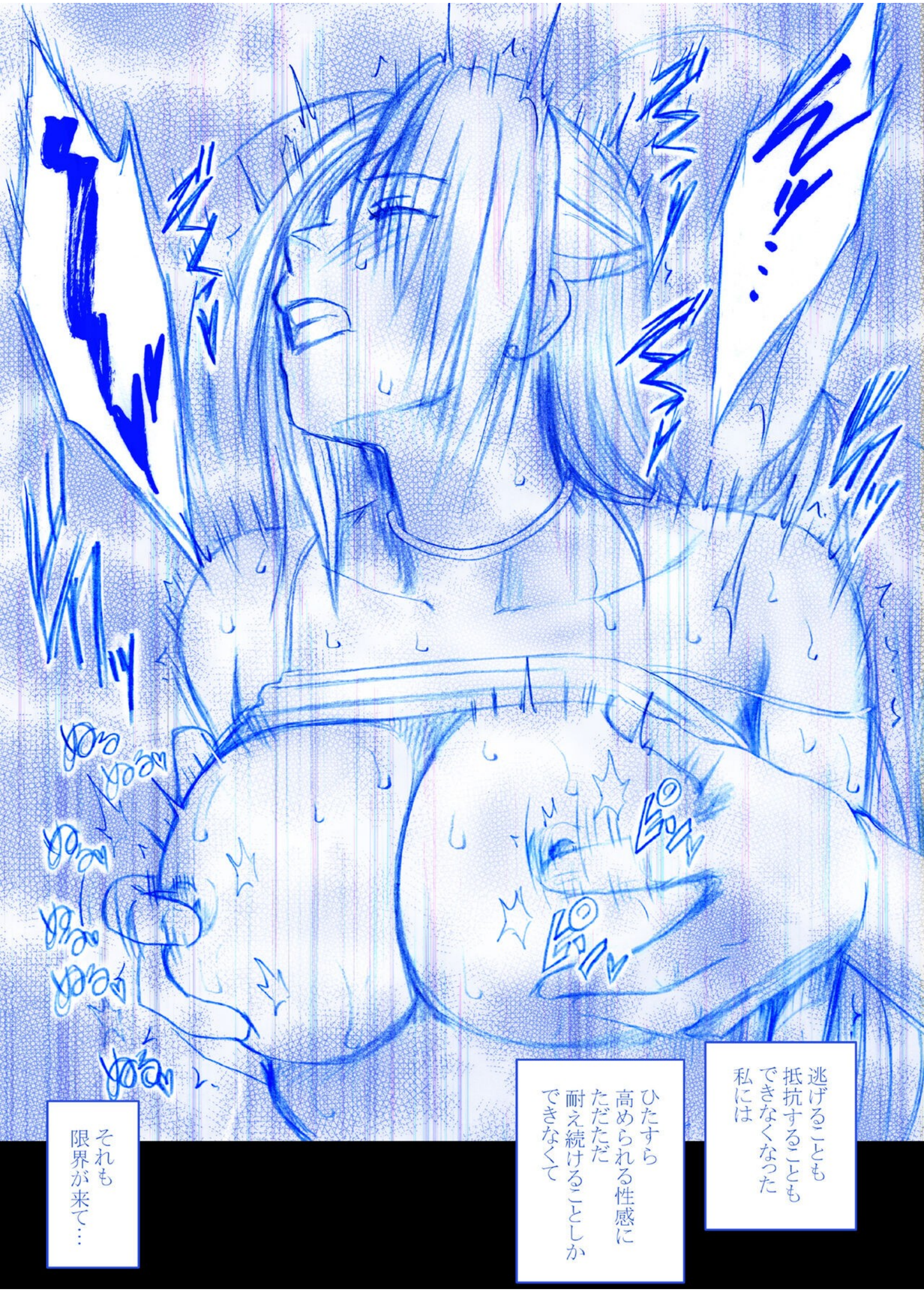

男の手が
はっきりと
胸を責め始めてくる
まだ
しばらく
様子をみるんだ
鈴峰
でも
私は指示があるまで
抵抗することもできず
じっくりと
性感を高められる
ばかりで…

そして
ついに男の指が
周りからじわじわと
責められ
鋭敏に高められた
乳首を…

あ…あの…！
そこは…！
…ッ
どうしました
お客様？
ココが
すこし反応が
あるようですので
重点的に施術して
いきますね？
そこからは
乳首を集中的に
責められていって…

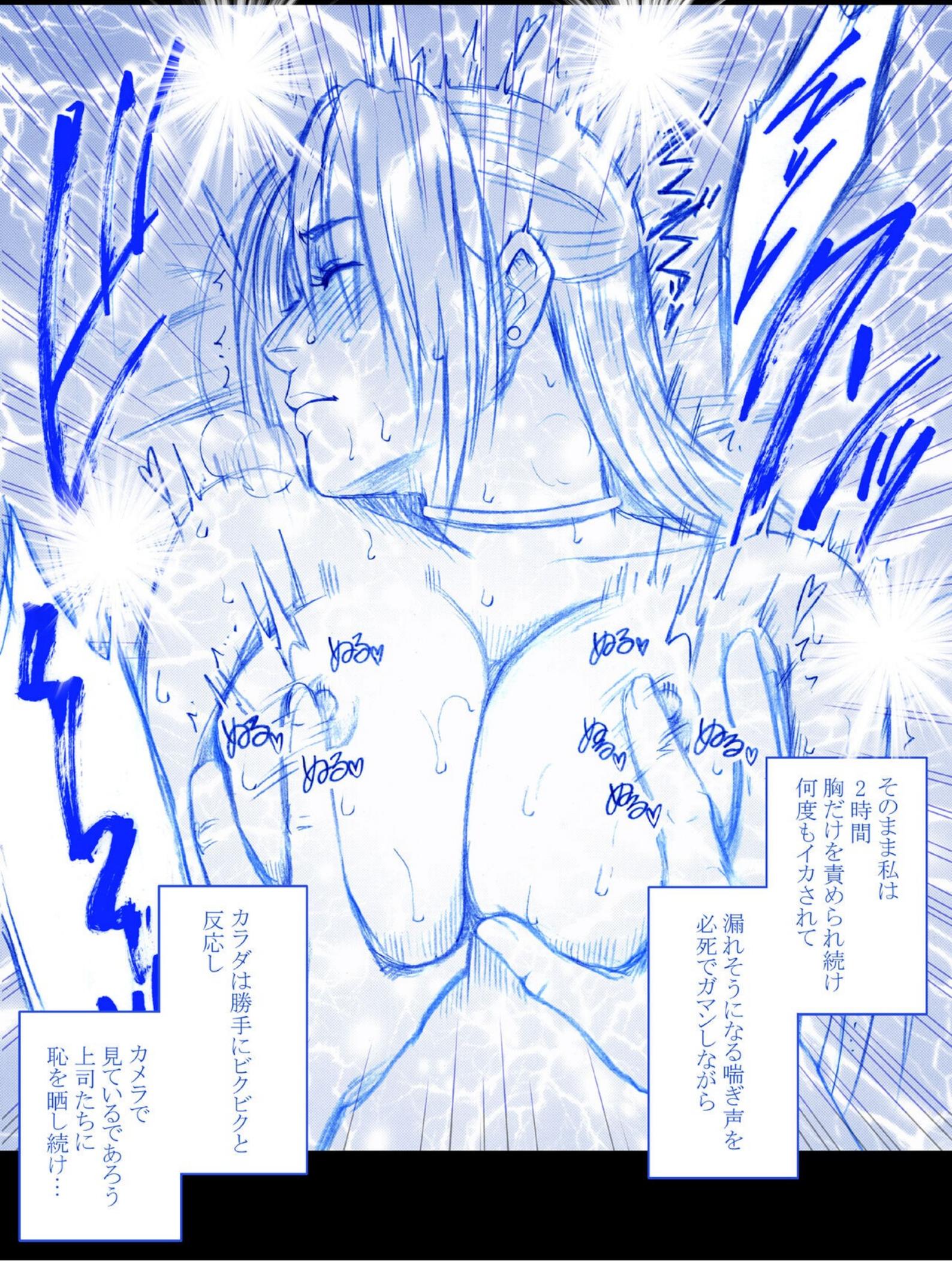
失礼します
やっ！
さらに
男は服をめくりあげて
直接乳首を責めてきて…
抵抗したかったけど
いつのまにか
手をバンドのようなもので
固定されて…
大丈夫です
こちらからは
見えておりませんので

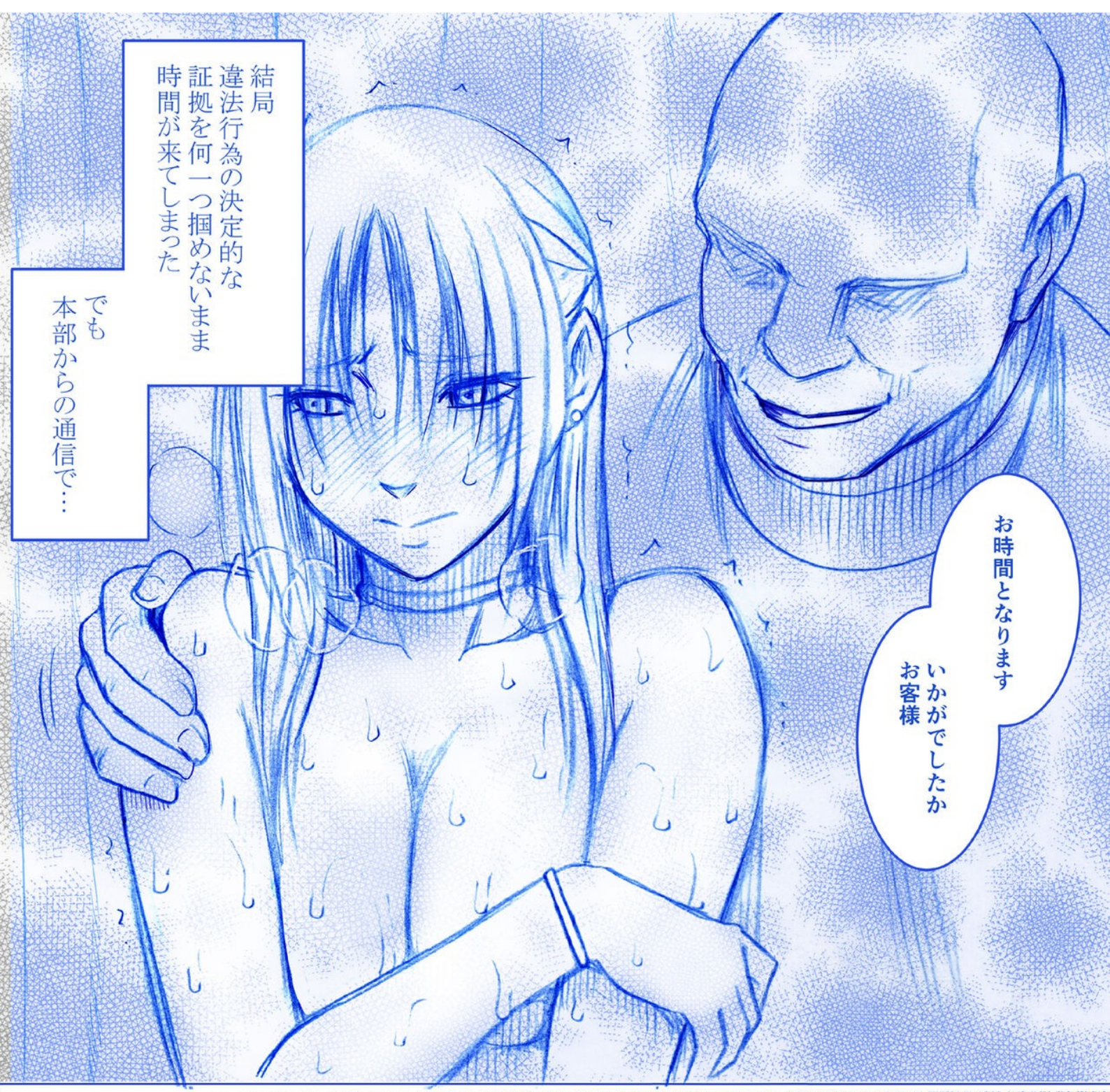
まだ
確実な証拠を
掴むところまでは
いけてない
もうしばらく
大人しく普通の客として
ふるまってくれ
しかも
本部からの指示で
強く抵抗することを
制限され
乳首を
性的にいじられ
続けることを
甘んじて受け入れるしか
なくて…


逃げることも
抵抗することも
できなくなった
私には
ひたすら
高められる性感に
ただただ
耐え続けることしか
できなくて
それも
限界が来て…

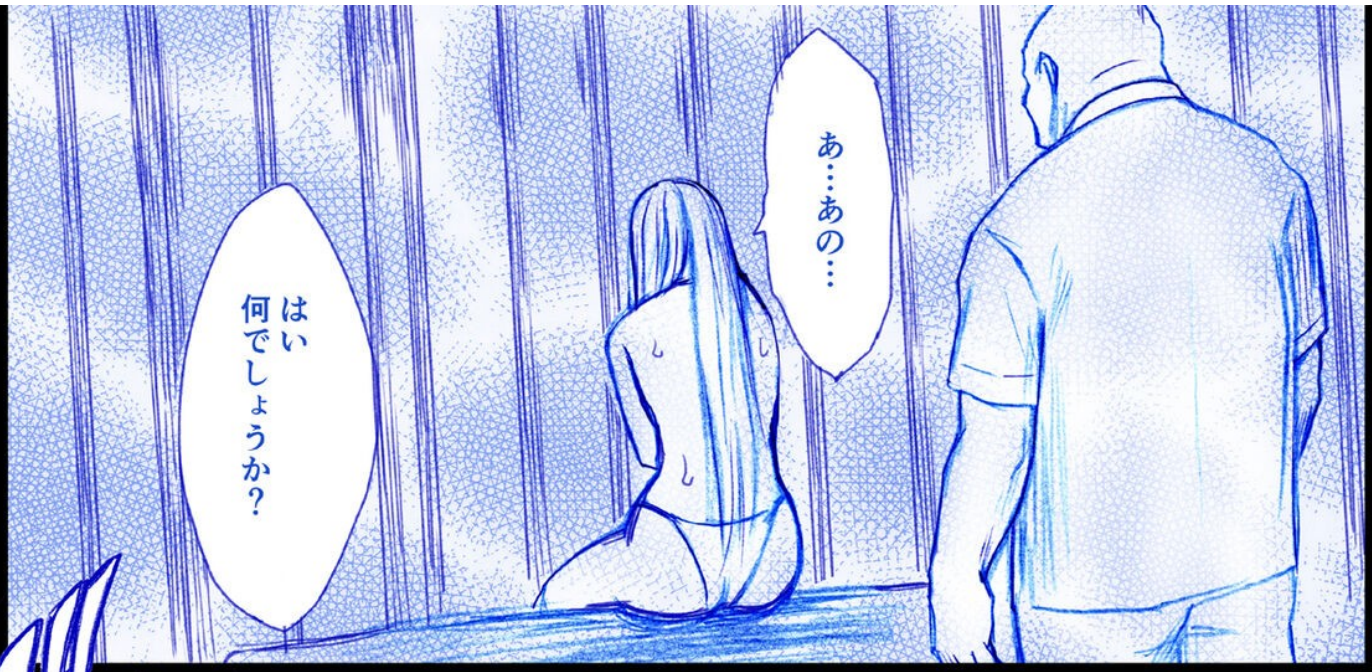
くっ…！
ダメだ！
反応しちゃダメ！
これ以上気持ちよくなっちゃダメ！
私は囮捜査に来てるのに！
この光景が隠しカメラで本部の人たちに見られてるのに…！
これ以上恥ずかしい姿をさらすわけには…！

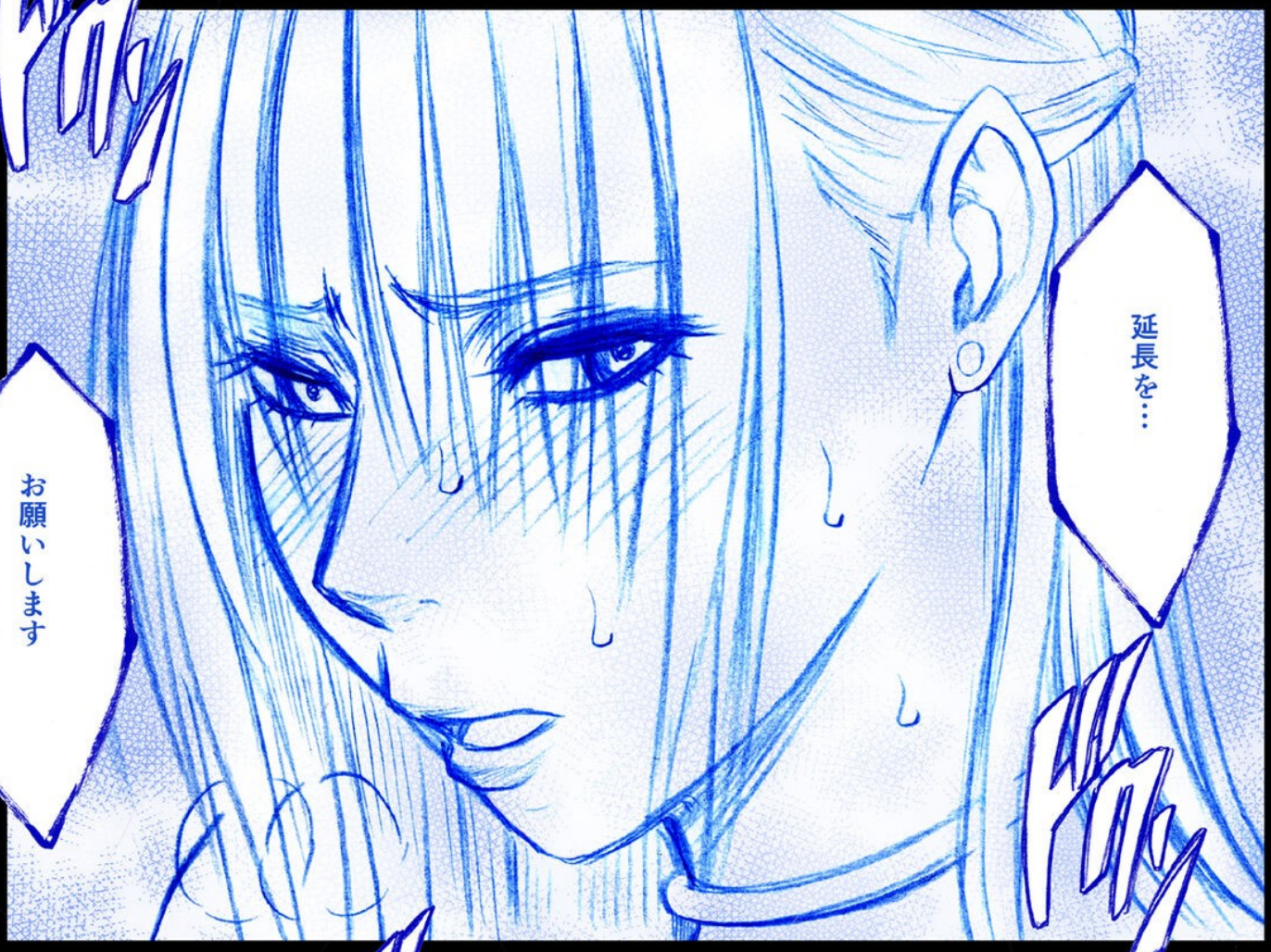
あ…！ダメ！
やっぱりイク！
イカされる！
乳首をヌルヌルに
されて責められて
何度もイカされて…！
こんな姿を
みんなに見られて
恥ずかしすぎるのに…！
どうにも
できない！
ぬるぅ
ぬるぅ


そのまま私は
2時間
胸だけを責められ続け
何度もイカされて
漏れそうになる喘ぎ声を
必死でガマンしながら
カラダは勝手にビクビクと
反応し
カメラで
見ているであろう
上司たちに
恥を晒し続け…


結局
違法行為の決定的な
証拠を何一つ掴めないまま
時間が来てしまった
でも
本部からの通信で…
お時間となります
いかがでしたか
お客様

まだだぞ
鈴峰
まだ証拠を
おさえられていない
延長を
要求するんだ





そんな…！

こんなふうに
自分から延長を
言いだしたりしたら
まるで…！

自分から
いやらしいマッサージを
望んでるみたい
になって…！

違うのに!!
望んでるわけじゃないのに!
びくっ♥
びくっ♥
ズボッ
クルッ♥
クルッ♥
クルッ♥
こんなことされるのは本当はイヤなのに!
クルッ♥
クル
クルッ♥

ぬるぅ
ぬるぅ
自分から
延長を言い出したことで
男はもう完全に
私がOKを出したと
認識したのか
卑猥なマッサージを
エスカレート
させてきて
指をあそこの中に
侵入させて
さらに激しく
性感を責めたててきて…

ダメだ…！
どんなにがんばってもイクのをガマンできない！
潜入捜査中なのに！
このままイカされ続けたらもう…！！
何も考えられなくなってしまう！

そこからはもう
マッサージなどではなく
ただひたすら
恥ずかしい部分を
責められて
イカされるだけの
拷問のようなものだった
どうしました？
お客様
体がすごく
反応しているみたいですけど
痛みがありますか？
それとも
気持ちイイですか？
ビクン
ビクン
ビクン

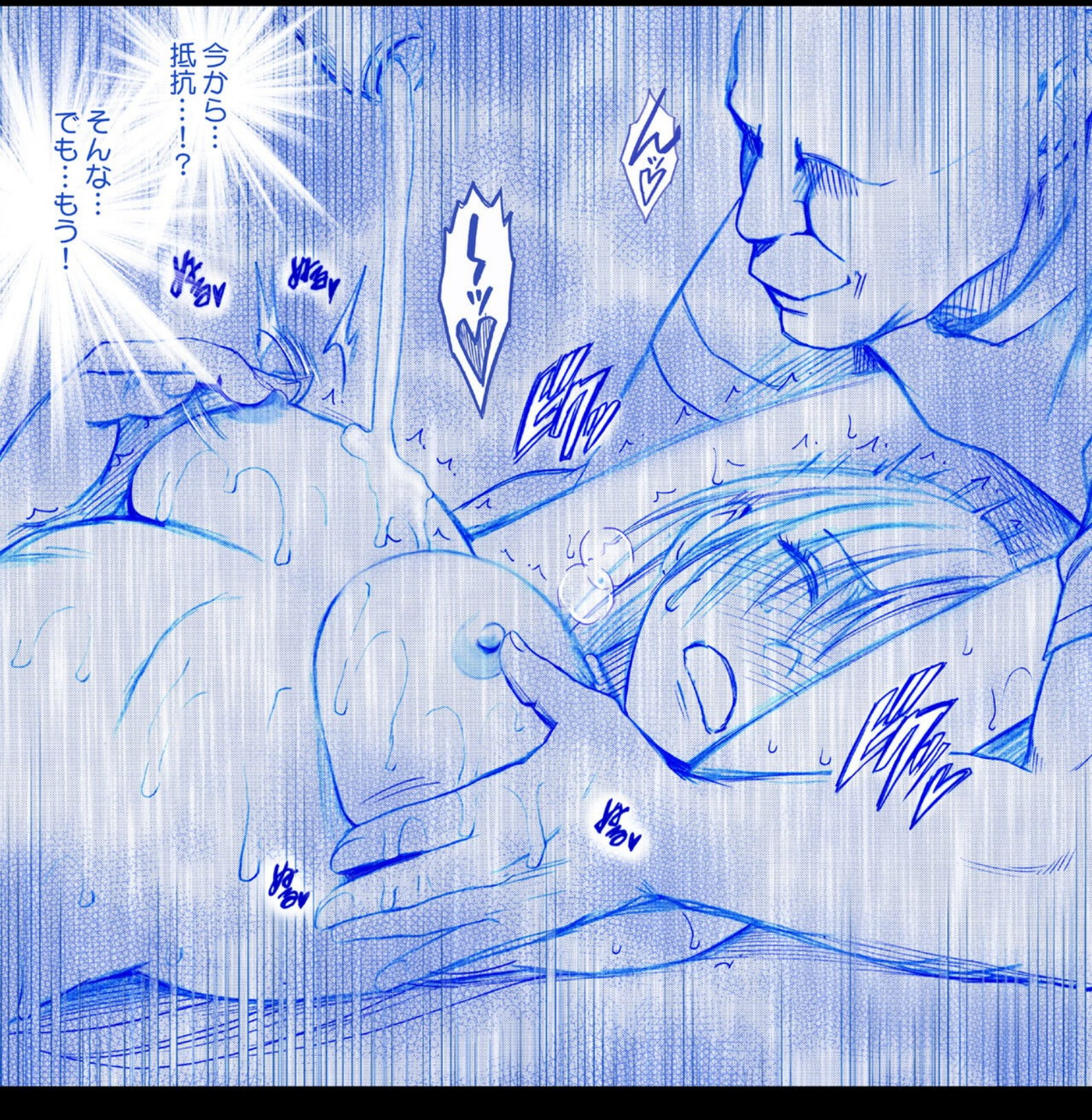
これじゃ
まるで…！
私に黙って
弄ばれろって
言われてるみたいな…！
それでも
通信機から
入ってくる指示は
ひたすら待つことだけで

さらに
追い打ちをかけるかのように
男性スタッフが
何人も入ってきて
私の手足を
押さえつけてきて
ますます抵抗
できなくなって
ではここからは特別なオイルを使っていきますね

よし鈴峰
そのオイルが
おそらく違法な成分を
含んでいるモノだ

これでその店を
摘発できる

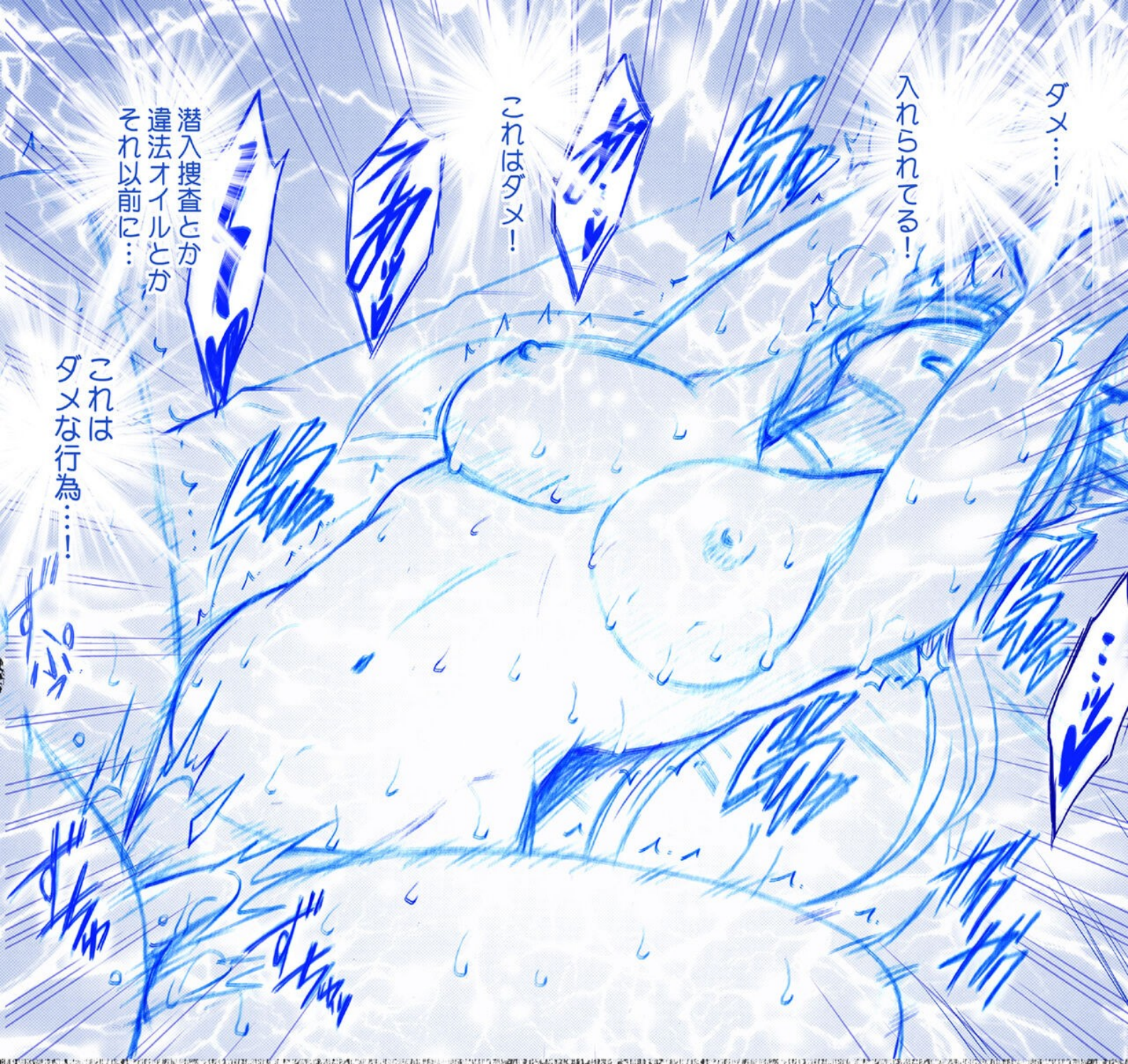
もう抵抗しても
いいから
そのまま
そのオイルを
持ち帰るんだ



あ…
あ…
あ…
ヌル
ヌル
ヌル
ヌル
ヌル
ヌル
ブルブルブル
このオイルの効果なの…!?
うまく力が入らない!
頭もボーッとしてくる!
これじゃ抵抗できない!

遅すぎる！
今から抵抗だなんて！
連続でイカされるくらいに気持ちよくさせられて！
こんな状態にされてから抵抗なんて無理！
抵抗どころか声をガマンすることさえできないのに…！
ぬる
ぬる
ぬる
ぬる
ぬる
ぬる
ぬる

このまま理性を
流されないようにと
目をきつく閉じ
必死で快感と
戦っていたとき
急に股を広げられ
耐えきれないほどの
快感が
入ってきて…

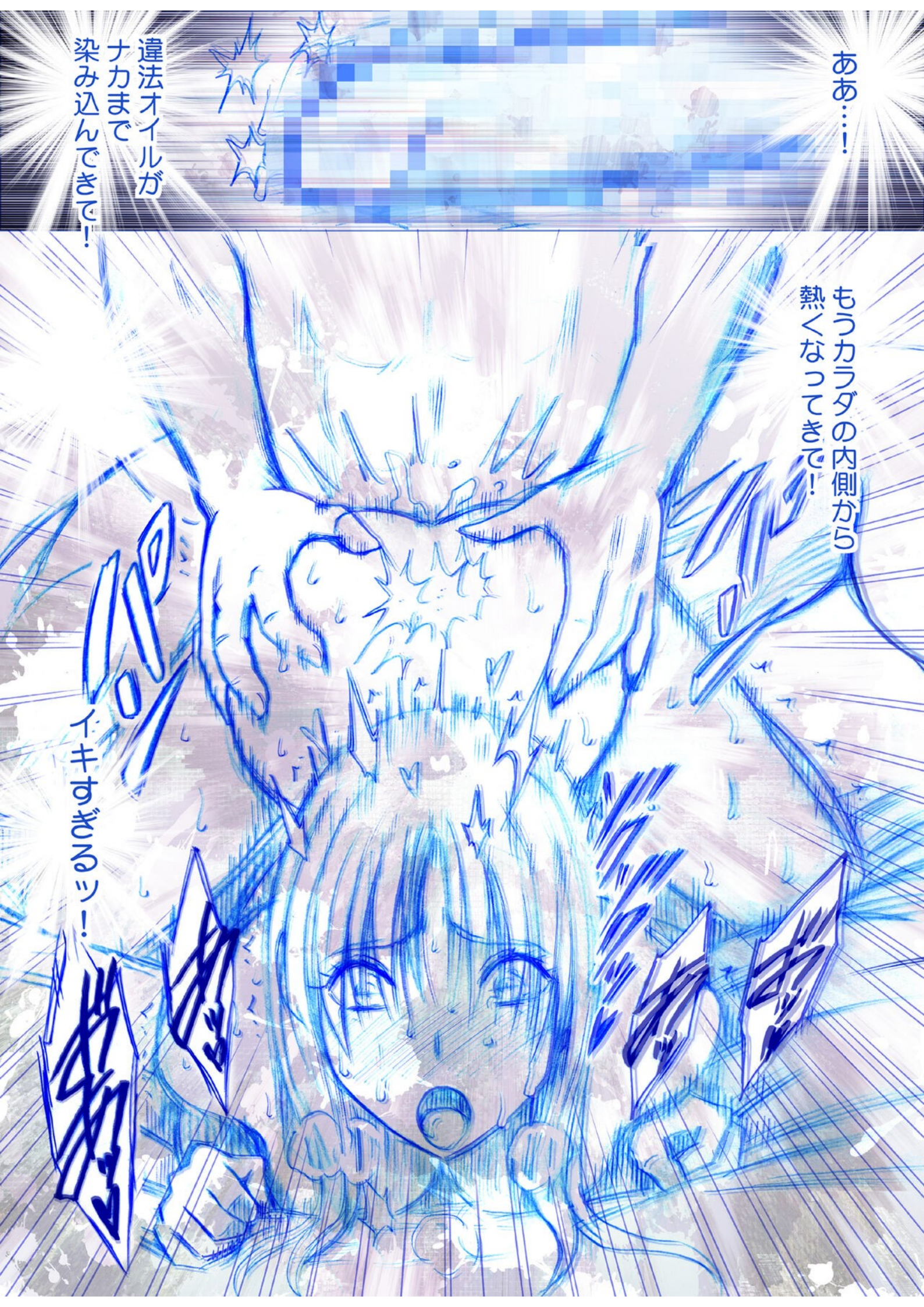


止めないと…！

抵抗しないと…！

どうした
鈴峰？
はやく抵抗するんだ
ダメ！
ダメなのに！
イクッ！
ただひたすらイカされる！

いかがですか？お客様？
強さの調整はできますので
このままじゃ…！
このまま何もできずにただイキ続けてたら…！
もっと強めのほうがお好みですか？
自分で延長を言い出してこうなることを望んだ女みたいになって…！


ああ…！
違法オイルがナカまで染み込んできて！
もうカラダの内側から熱くなってきて！
イキすぎるッ！